

鳥取砂丘コナン空港滑走路端安全区域 (RESA) 整備工事について

事業概要

令和6年度：仮設工事（工事用道路、仮締切、施工ヤード整備等）

令和7年度：護岸工事（基礎工、本体工、被覆工等）

令和8年度：用地造成等（進入灯復旧、仕上げ等） ※下線の工種は昼間施工予定

○本工事による沿岸漂砂には影響のないものと判断し、工事を進めているところです。

本工事は、鳥取砂丘コナン空港において西側に用地を拡張し、滑走路端安全区域（RESA）の整備を行う工事です。

滑走路端安全区域（RESA）とは、航空機が滑走路の手前で着陸する「アンダーシュート」または、航空機が滑走路を走り越す「オーバーラン」といった事故を起こした場合に、機体の損傷を軽減し、人命の安全を図るため、着陸体両端に設けられた緩衝区域のことです。





①工事用道路設置状況

②仮締切工設置状況



③進入灯橋梁の一部撤去

④施工ヤード

